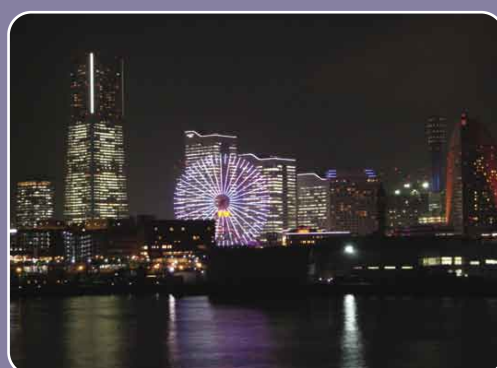
SONY









Cyber-shot

サイバーショット ハンドブック

DSC-W320

© 2010 Sony Corporation

4-166-049-**02**(1)

JP

ハンドブックの便利な使いかた

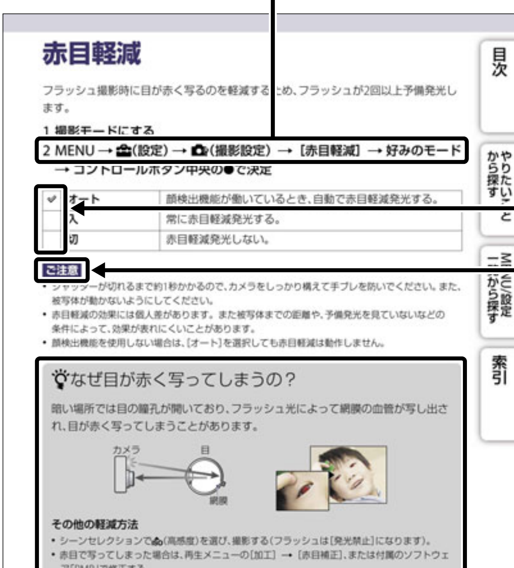
右側にあるボタンをクリックすると、該当ページに移動します。
見たい機能を探したいときに便利です。



- 機能別に探せます
- 目的別に探せます
- MENU/設定一覧から探せます
- キーワードから探せます

本文中に記載されたページ数部分をクリックしても、各ページに移動します。

本文中のマーク/記載内容について



- ハンドブックでは、操作の手順を→で表現しています。この順に従って操作してください。マークはお買い上げ時の状態のもので載せています。
- お買い上げ時の設定は✔で表しています。
- カメラを正しく動作させるための注意や制限事項を記載しています。
- 知っておくと便利な情報を記載しています。

操作前のご注意

表示言語について

本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機で使用できるメモリーカード（別売）についてのご注意

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティックPROデュオ"、"メモリースティックPRO-HGデュオ"、"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードです。マルチメディアカードは使用できません。
本機で動作確認されているメモリーカードは32GBまでです。
本書では、"メモリースティックPRO デュオ"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、"メモリースティック デュオ"を「"メモリースティック デュオ"」と表現しています。

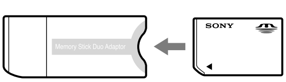
動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。

– Memory Stick PRO Duo（"メモリースティックPRO デュオ"）
– Memory Stick PRO-HG Duo（"メモリースティックPRO-HG デュオ"）
– SDメモリーカード、SDHCメモリーカード（Class 2 以上）

"メモリースティック デュオ"について詳しくは、99ページをご覧ください。

"メモリースティック デュオ"をスタンダードサイズの"メモリースティック"スロットで使用する場合

"メモリースティック デュオ"アダプター（別売）に入れると使用可能です。



"メモリースティック デュオ"アダプター

バッテリーについてのご注意

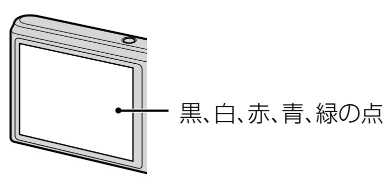
- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長期間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、101ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機の可動式レンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

カスタマー登録について

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後はカスタマー登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話：0466-38-1410
受付時間： 月～金　9:00 ～ 20:00
土日祝　9:00 ～ 17:00

カスタマー登録およびそれに関する電話によるお問い合わせの対応は、国内のみです。

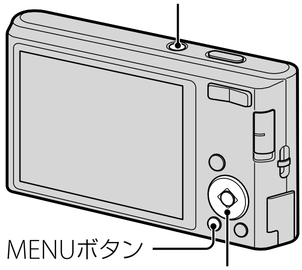
目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

MENU一覧（撮影）

撮影中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。



1 **電源を入れて、撮影モードにする**
2 **MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する**
3 **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ**
4 **MENUボタンを押して、メニュー画面を消す**

下の表では、○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。「SCN」下のアイコンは、設定変更可能なモードを表しています。撮影モードによっては設定が固定または制限される場合があります。詳細は、各項目のページにてご確認ください。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

モードスイッチ	[静止画]				[動画]
撮影モード / メニュー項目	i[静止画]	P	SCN	[かんたん]	
撮影モード	○	○	○	○	－
シーンセレクション	－	－	○	－	－
かんたんモード	○	○	○	○	－
画像サイズ	○	○	○	○	○
連写設定	○	○	[アイコン5種]	－	－
明るさ（EV補正）	○	○	○	○	○
ISO	－	○	[アイコン]	－	－
色合い（ホワイトバランス）	－	○	ISO [アイコン2種]	○	○
水中ホワイトバランス	－	－	[アイコン]	－	－
フォーカス	－	○	－	－	－
測光モード	－	○	－	－	○
おまかせシーン認識	○	－	－	－	－
スマイル検出感度	○	○	ISO [アイコン4種]	○	－
顔検出	○	○	ISO [アイコン3種]	○	－
DRO	－	○	－	－	－
[設定アイコン]（設定）	○	○	○	○	○

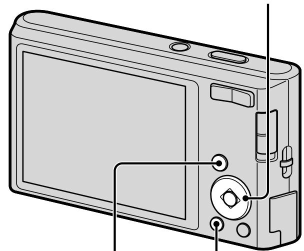
ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。

MENU一覧（再生）

再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する
3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ
4 中央の●を押して実行する



下の表では、○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

メニュー項目	メモリーカード	内蔵メモリー
EASY（かんたんモード）	○	○
（スライドショー）	○	○
（加工）	○	○
（削除）	○	○
（プロテクト）	○	○
DPOF	○	－
（印刷）	○	○
（回転）	○	○
（再生フォルダ選択）	○	－
（設定）	○	○

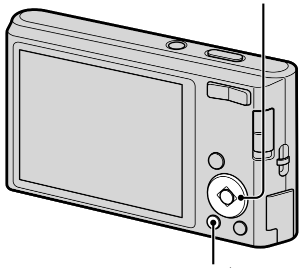
ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。

設定一覧

(設定)画面を表示して、本機の設定を変更します。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する
2 コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●で設定画面を表示する
3 ▲/▼でカテゴリーを選び、▶で移動して項目を選び、中央の●を押す
4 好みのモードを選び、中央の●で決定



下の表の「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。

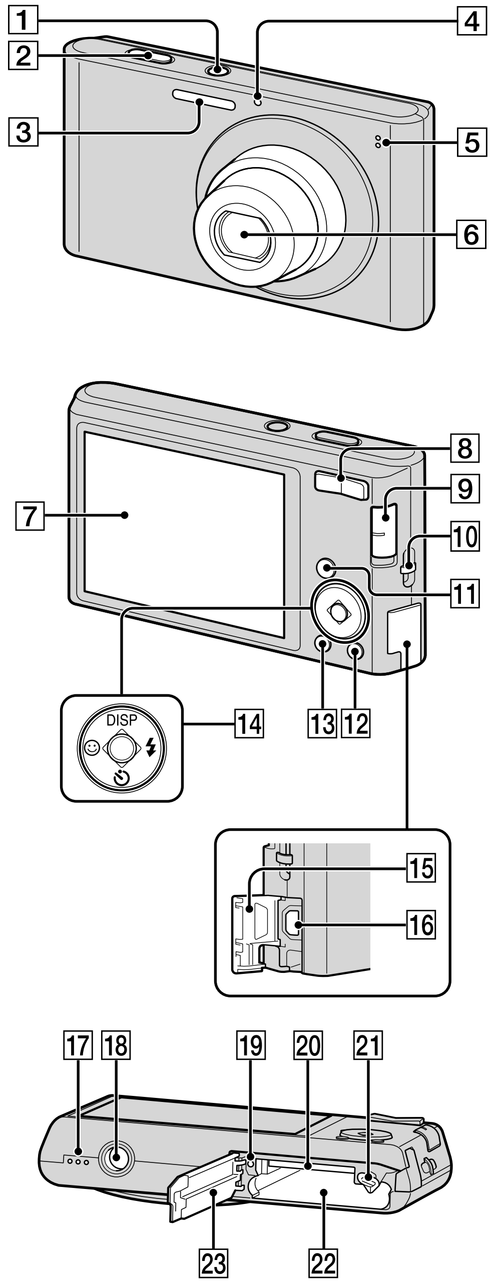
カテゴリー	項目
撮影設定	グリッドライン
	デジタルズーム
	赤目軽減
本体設定	操作音
	表示言語*
	機能ガイド
	パワーセーブ
	設定リセット
	ビデオ信号出力
	USB接続
	LUN設定
メモリーカードツール	フォーマット
	記録フォルダ作成
	記録フォルダ変更
	記録フォルダ削除
	コピー
	ファイル番号
内蔵メモリーツール	フォーマット
	ファイル番号
時計設定	日時設定

* 本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

ご注意

- [撮影設定]は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。
- [メモリーカードツール]はメモリーカード挿入時のみ表示され、[内蔵メモリーツール]はメモリーカード非挿入時のみ表示されます。

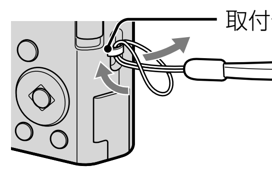
各部の名前



1 ON/OFF（電源）ボタン
2 シャッターボタン
3 フラッシュ
4 セルフタイマーランプ/
スマイルシャッターランプ
5 マイク
6 レンズ
7 液晶画面
8 撮影時：W/T（ズーム）ボタン（18）
再生時：🔍（再生ズーム）ボタン（24）/
▦（インデックス）ボタン（25）
9 モードスイッチ（16）
10 リストストラップ取り付け部*
11 ▶（再生）ボタン（23）
12 🗑（削除）ボタン（26）
13 MENUボタン（10）
14 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●
メニューオフ時：DISP/self-timer/smile/flash
15 端子カバー
16 USB（USB）・A/V OUT端子
17 スピーカー
18 三脚用ネジ穴
19 アクセスランプ
20 メモリーカード挿入口
21 取りはずしつまみ
22 バッテリー挿入口
23 バッテリー/メモリーカードカバー

* リストストラップを使う

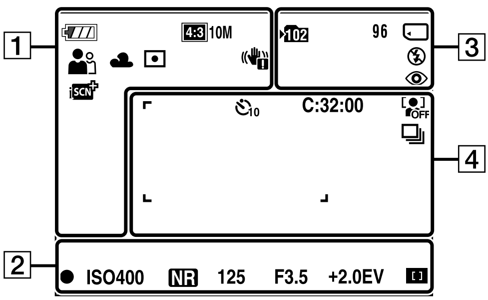
- 本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。落下防止のため、手を通してご使用ください。



画面に表示されるアイコン一覧

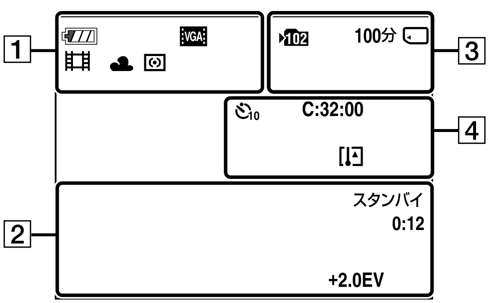
画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールボタンのDISP（画面表示設定）で、液晶画面の表示が切り替わります。

静止画撮影時

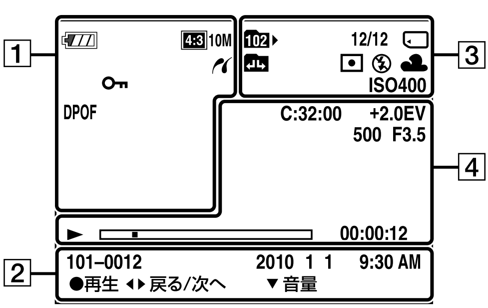


- かんたんモードのときは、表示されるアイコンは制限されます。

動画撮影時



再生時



1

	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
4:3 14M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 11M 16:9 2M VGA QVGA	画像サイズ
	シーンセレクション
P	撮影モード（おまかせオート撮影/プログラムオート撮影/ブレ軽減/動画撮影）
	シーン認識マーク
WB 1 WB 2	色合い（ホワイトバランス）
	測光モード
	手ブレ警告
iSCN+	おまかせシーン認識
DRO STD DRO Plus	DRO
	スマイル検出感度インジケーター
W T ×1.4 S P	ズーム
	PictBridge接続
	プロテクト
DPOF	プリント予約
×2.0	ズーム

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

2

●	AE/AFロック
ISO400	ISO感度
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	明るさ（露出補正）
[ ] [ ] ■	AF測距枠表示
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2010 1 1 9:30 AM	画像の記録日時
● 停止 ● 再生	再生時の操作ガイド
◀▶ 戻る/ 次へ	前後の画像を表示
▼ 音量	音量調節

3

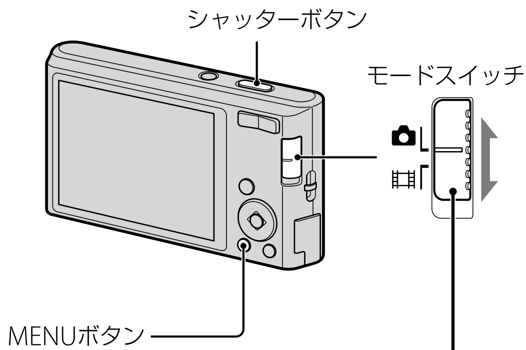
▸102	記録フォルダ
102▸	再生フォルダ
96	記録可能枚数
12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
100分	記録可能時間
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
	フォルダ移動
	赤目軽減
	測光モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
AWB WB	ホワイトバランス
ISO400	ISO感度

4

10 2	セルフタイマー
C:32:00	自己診断表示
	温度上昇警告
OFF	顔検出
	連写設定
	AF測距枠
+	スポット測光照準
+2.0EV	露出補正値
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値
►	再生
	再生バー
00:00:12	カウンター
	音量

モードスイッチの使いかた

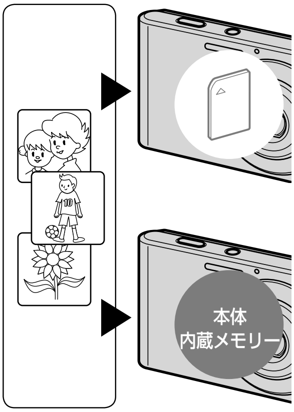
撮影したいモードにあわせて撮影モードを設定します。



（静止画撮影）	静止画を撮影できる（29, 30, 31, 33ページ）。 MENU → ［撮影モード］で好みの静止画撮影モードを設定できる。
（動画撮影）	動画を撮影できる。 シャッターボタンの深押しで撮影を開始し、終了するときは、もう一度シャッターボタンを深押しする。

内蔵メモリーについて

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（約28MB）が搭載されています。
本機にメモリーカードが入っていないときに、画像を内蔵メモリーに記録できます。



メモリーカードが挿入されているとき

[撮影画像]：メモリーカードに記録します。

[再生]：メモリーカード内の画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：メモリーカード内のデータに対して行います。

メモリーカードが挿入されていないとき

[撮影画像]：内蔵メモリーに記録します。

[再生]：内蔵メモリーの画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

パソコンのハードディスクにバックアップを取るには

本機にメモリーカードを入れない状態で、80ページの操作を行う。

メモリーカードにバックアップを取るには

充分な空き容量のあるメモリーカードを準備して、[コピー]（73ページ）の操作を行う。

ご注意

- メモリーカードに記録された画像データは、内蔵メモリーに取り込めません。
- 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンに取り込めますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーに書き出せません。

ズーム

画像を拡大して撮影します。光学4倍までズームします。

1 W/T（ズーム）ボタンを押す

Tボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻る。

- 4倍以上のズームを行う場合は、60ページをご覧ください。

Tボタン



Wボタン



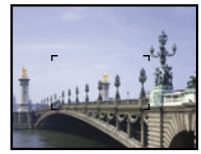
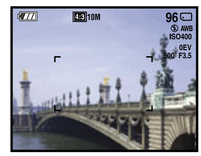
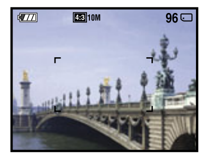
ご注意

- 動画撮影中は、ズーム倍率を変えられません。

DISP（画面表示設定）

1 コントロールボタンのDISP（画面表示設定）を押す

2 コントロールボタンで好みのモードを選ぶ

	（明るい+情報表示なし）	画面を標準よりも明るくして、画像のみを表示する。	
	（明るい+画像データ）（再生時のみ）	画面を標準よりも明るくして、情報を表示する。 撮影画像のExifデータも表示する。	
	（明るい）	画面を標準よりも明るくして、情報を表示する。	
✓	（標準）	画面を標準の明るさにして、情報を表示する。	

ご注意

- 明るい屋外では、画面を明るくすると見やすくなります。ただし、バッテリーの消費は早くなります。

フラッシュ

1 コントロールボタンの⚡（フラッシュ）を押す

2 コントロールボタンで好みのモードを選ぶ

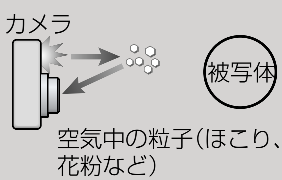
✓	⚡AUTO（オート）	暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。
	⚡（強制発光）	フラッシュを必ず発光する。
	⚡SL（スローシンクロ）	フラッシュを必ず発光する。 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。
	⊘（発光禁止）	フラッシュを発光しない。

ご注意

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、⚡● が表示されます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。
- おまかせオート撮影、かんたんモード時は、[オート]と[発光禁止]のみ選べます。

フラッシュ撮影で白く丸い点が写るときは

カメラの近くに浮かんでいるほこりや花粉などがフラッシュに反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。





軽減するには：

- 撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影する。
- シーンセレクションでISO（高感度）に設定して撮影する（フラッシュは[発光禁止]になります）。

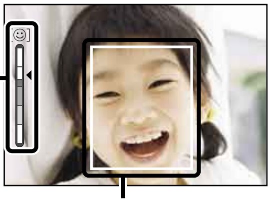
スマイルシャッター

笑顔を検出すると自動で撮影します。

1 コントロールボタンの ☺(スマイル)を押す

2 笑顔を待つ

スマイルレベルがインジケーターの◀を越えると、自動で撮影される。
スマイルシャッター中にシャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。



3 終了するときは、もう一度 ☺(スマイル)を押す

ご注意

- メモリーカード/内蔵メモリーがいっぱいになると自動的に終了します。
- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- デジタルズームは使えません。
- 動画撮影時、スマイルシャッターは使えません。

検出されやすい笑顔のポイント



① 前髪が目にかからないようにする。
帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。
目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

- 顔検出されているうちの1人が笑えばシャッターが切れます。
- 顔検出で笑顔を検出する被写体を優先的に設定したり、検出する顔の選択ができます。別の顔を検出したいときは、コントロールボタン中央の●で選択顔を変更できます(48ページ)。
- 笑顔が検出されない場合はMENUの[スマイル検出感度]を設定してください。

セルフタイマー

1 コントロールボタンの⏲(セルフタイマー)を押す

2 コントロールボタンで好みのモードを選ぶ

✓	⏲OFF(切)	セルフタイマーを使わない。
	⏲10(10秒)	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、もう一度⏲ボタンを押す。
	⏲2(2秒)	セルフタイマーを2秒後に設定する。

ご注意

- かんたんモード時は、[10秒]と[切]のみ選べます。

2秒のセルフタイマーを使って、手ブレを軽減する

セルフタイマーを2秒後に設定して撮影すると、シャッターを押したときのブレを防ぐことができるため、手ブレが起こりにくくなります。

静止画再生

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 コントロールボタンで画像を選ぶ

再生ズーム

画像を拡大して再生します。



全体の中で現在表示されている部分

1 静止画再生中に🔍(再生ズーム)ボタンを押す

画像中央を中心に、2倍に拡大される。

2 コントロールボタンで位置を調整する

3 W/T(ズーム)ボタンで倍率を調整する

T側の🔍ボタンでさらに拡大し、W側で戻る。

ズームを中止するには、コントロールボタン中央の●を押す。

画像を拡大し保存するには

MENU →[加工]→[トリミング]で、拡大した画像を保存できます。

一覧表示

同時に複数の画像を表示させます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 ▦(インデックス)ボタンを押し、一覧表示画面にする

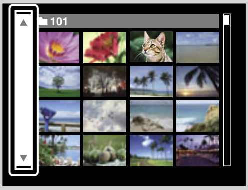
もう一度押すと、さらに細かい一覧表示画面になる。

3 1枚再生に戻すには、コントロールボタンで画像を選び、中央の●を押す

ご注意

- 一覧表示中にかんたんモードにすると、1枚再生になります。かんたんモード時は、一覧表示はできません。

希望のフォルダを表示するには



コントロールボタンで左側のバーを選び、▲/▼で希望のフォルダを選びます。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

削除

不要な画像を選んで削除できます。
MENUボタンからの削除もできます(54ページ)。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

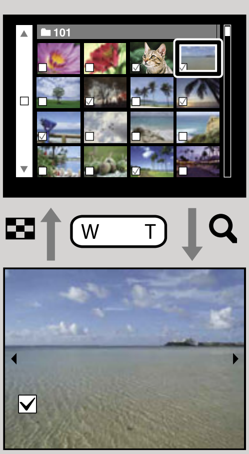
2 🗑(削除)ボタン → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

フォルダ内全て	選択しているフォルダ内すべての画像をまとめて削除する。 手順2の後に、[実行] → 中央の●を押す。
画像選択	画像を何枚か選んで削除する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 削除したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度選ぶと、削除の選択は解除される。 ② MENU → [実行] → 中央の●
この画像	1枚再生時に見ている画像を削除する。
終了	削除を中止する。

ご注意

- かんたんモード時は、見ている画像の削除しかできません。

一覧表示、1枚再生を切り換えながら選ぶには



一覧表示時にW/T(ズーム)ボタンT側の🔍ボタンを押すと1枚表示に、1枚再生時にW側の▦(インデックス)ボタンを押すと一覧表示になります。

- プロテクト、DPOF、印刷のときも切り換えられます。

動画再生

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 コントロールボタンで動画を選ぶ

3 中央の●を押す

動画の再生が始まる。

コントロールボタン	再生中にできること
●	再生/一時停止
▶	早送り
◀	早戻し
▼	音量調節画面表示。 • ▲/▼で音量調節し、●で決定すると表示が消える。

ご注意

- 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。

動画再生の画面について

コントロールボタンの◀/▶で表示したい画像を選び、中央の●を押します。

再生バーが表示され、動画の再生位置を確認できます。



動画には VGA/QVGA のアイコンが表示されます。
画像サイズによって表示されるアイコンは異なります。

再生バー

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

撮影モード

1 モードスイッチを📷（静止画撮影）にする
2 MENU → i📷（撮影モード） → 好みのモード

✓	i📷（おまかせオート撮影）	自動設定で撮影できる（29ページ）。
	P（プログラムオート撮影）	露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する（30ページ）。メニューで多彩な機能を設定できる。
	SCN（シーンセレクション）	あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できる（31ページ）。
	((👤))（ブレ軽減）	撮影時の手ブレや被写体ブレをおさえて撮影できる（33ページ）。

おまかせオート撮影

自動設定で撮影します。

1 モードスイッチを（静止画撮影）にする
2 MENU → i（撮影モード）→ i（おまかせオート撮影）→ コントロールボタン中央の●で決定
3 シャッターボタンを押して撮影する

ご注意

- フラッシュは［オート］、または［発光禁止］になります。

おまかせシーン認識について

おまかせオート撮影では、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。



シーン認識マークとガイド

（夜景）、（夜景＆人物）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークとガイドが表示されます。
詳しくは45ページをご覧ください。

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は、レンズ先端からW側約4cm、T側約60cmです。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えたり、フォーカス設定を変える（42ページ）などしてください。
- 以下のとき、ピントが合いにくい場合があります。
  – 被写体が遠くて暗い
  – 被写体と背景のコントラストが弱い
  – ガラス越しの被写体
  – 高速で移動する被写体
  – 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  – 点滅する被写体
  – 逆光になっている被写体

プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。

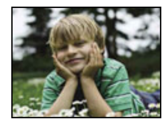
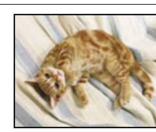
1 モードスイッチを📷（静止画撮影）にする
2 MENU → i📷（撮影モード）→ P（プログラムオート撮影）→ コントロールボタン中央の●で決定
3 シャッターボタンを押して撮影する

シーンセレクション

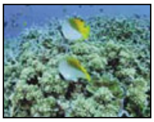
あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

1 モードスイッチを（静止画撮影）にする

2 MENU → i（撮影モード）→SCN（シーンセレクション）→ コントロールボタン中央の● → 好みのモード

ISO（高感度）	暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。	
（ソフトスナップ）	人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。	
（風景）	遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。	
（夜景＆人物）	夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使う。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。	
（夜景）	暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。	
（料理）	マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。	
（ペット）	ペットを最適な設定で撮影する。	
（ビーチ）	海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに撮影する。	
（スノー）	雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにする。	

次のページにつづく↓

(水中)	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、水中をきれいに撮影する。 

ご注意

- (夜景&人物)、(夜景)のときは、シャッタースピードが遅くなり画像がブレやすくなるため、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。
「フラッシュ 」の下のアイコンは、設定できるモードを表しています。
モードによっては使えない機能があります。

	フラッシュ	顔検出/スマイルシャッター	連写設定	色合い(ホワイトバランス)
ISO		○	－	○*1
	○	○*2	○	－
		－	○	－
	SL	○	－	－
		－	－	－
		－	－	○
		－	－	○
		○	○	－
		○	○	－
		－	○	○*3

*1 [色合い(ホワイトバランス)]の[フラッシュ]は選べません。

*2 [顔検出]の[切]は選べません。

*3 [水中ホワイトバランス]になります。

ブレ軽減

撮影時の手ブレや被写体ブレをおさえて撮影します。

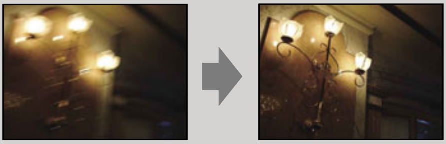
1 モードスイッチを📷（静止画撮影）にする
2 MENU → i📷（撮影モード） → ((👤))（ブレ軽減） → コントロールボタン中央の●で決定
3 シャッターボタンを押して撮影する

ブレを起こさないためには

撮影時にカメラが動くと「手ブレ」、被写体が動くと「被写体ブレ」が起こります。
👤☽（夜景＆人物）や☽（夜景）など、暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、手ブレ、被写体ブレも起こりやすくなるため、下記の軽減方法を参考にしてください。

手ブレ

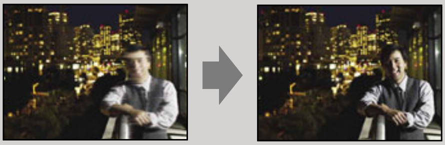
シャッターボタンを押したときに、カメラを持つ手や体が揺れて画面全体がブレてしまう。



- 三脚を使用したり、カメラを平らな場所に置き、固定する。
- セルフタイマーを2秒に設定して、シャッターを押したあとにしっかりと構え直す。

被写体ブレ

カメラを固定していても、シャッターボタンを押したときに被写体が動いてしまい、ブレが起こる。



- ISO（高感度）に設定して撮影する。
- ISO感度の設定を上げてシャッタースピードを速くし、被写体が動く前にシャッターを切る。

かんたんモード

必要最低限の機能を使って静止画を撮影します。
文字が大きくなり、表示が見やすくなります。

1 MENU → EASY（かんたんモード）→［実行］→ コントロールボタン中央の●

2 シャッターボタンを押して撮影する

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 再生モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード時に使用できる撮影機能

画像サイズ： MENU →［画像サイズ］→ コントロールボタン中央の● → 好みのモード → 中央の●
[大]、または[小]から選ぶ。

セルフタイマー： コントロールボタンの → 好みのモード
[10秒]、または[切]から選ぶ。

フラッシュ： コントロールボタンの → 好みのモード
[オート]、または[発光禁止]から選ぶ。

スマイルシャッター： コントロールボタンの

かんたんモード終了： MENU →［かんたんモード終了］→［実行］→ 中央の●

おまかせシーン認識について

かんたんモードでは、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。



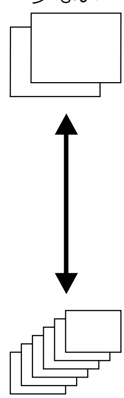
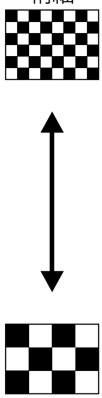
（夜景）、（夜景＆人物）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークが表示されます。
詳しくは45ページをご覧ください。

画像サイズ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

1 MENU → 4:3 14M(画像サイズ) → 好みのサイズ

静止画撮影

	静止画画像サイズ	用途例	撮影可能枚数	プリント時
✓	4:3 14M (4320×3240)	A3ノビサイズまでの印刷	少ない  多い	精細  粗い
	4:3 10M (3648×2736)			
	4:3 5M (2592×1944)	L/2L/A4サイズまでの印刷		
	4:3 VGA (640×480)	Eメールに添付		
	16:9 11M (4320×2432)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3までの印刷	少ない ↕ 多い	精細 ↕ 粗い
	16:9 2M (1920×1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞		

ご注意

• 16:9で撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。

かんたんモード

✓	大	[14M]で撮影
	小	[5M]で撮影

動画撮影

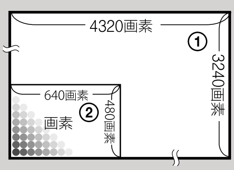
画像サイズは大きいほど高精細になります。
本機の動画はAVI（Motion JPEG）、約30フレーム/秒で記録されます。

	動画画像サイズ	用途の例
✓	VGA VGA(640 × 480)	テレビに適したサイズで撮影
	QVGA QVGA (320 × 240)	Eメール添付に適した小さいサイズで撮影

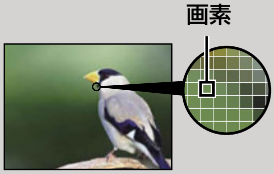
「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素（ピクセル）」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指します。本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

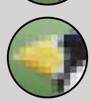


① 画像サイズ：14M
4320画素×3240画素＝13996800画素
② 画像サイズ：VGA
640画素×480画素=307200画素





画素数が多い
（細密で、データ量が多い）

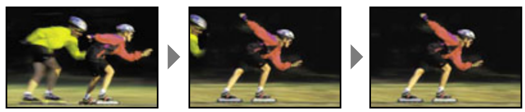


画素数が少ない
（粗いが、データ量が少ない）

連写設定

1枚撮影、連写から撮影モードを選べます。

1 MENU → (連写設定) → 好みのモード

✓	(1枚撮影)	1枚撮影する。
	(連写)	シャッターボタンを押し続けている間、最大100枚連写する。  **ご注意** • かんたんモード、動画撮影時、スマイルシャッター中は連写できません。 • フラッシュは[発光禁止]になります。 • セルフタイマーで連写すると、最大5枚の連続撮影となります。 • 画像サイズによって撮影の間隔が長くなることがあります。 • バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー/メモリーカードの容量がいっぱいになると、連写は停止します。 • [フォーカス]、[色合い(ホワイトバランス)]、[明るさ(EV補正)]は最初の1枚に設定された値に固定されます。

明るさ（EV補正）

－2.0EVから＋2.0EVの範囲で、1/3EV単位で露出を手動調節できます。

1 MENU → 0EV（明るさ（EV補正））→ 好みの数値

ご注意

- かんたんモード時は、選べません。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

光の量を調整して好みの画像を撮る



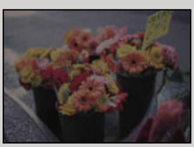
露出オーバー＝光が多すぎる
画面が白くなる

明るさ（EV補正）を－側にする



露出が適正

明るさ（EV補正）を＋側にする



露出アンダー＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

ISO

プログラムオート撮影、またはシーンセレクションで🐟(水中)を選んでいるとき、明るさの感度を設定します。

1 MENU → ISO AUTO(ISO) → 好みのモード

✓	ISO AUTO(オート)	カメラが自動で設定する。
	ISO 80/ISO 100/ISO 200/ISO 400/ISO 800/ISO 1600/ISO 3200	暗い場所や動いている被写体を撮影する場合、ISO感度を上げる(数値を大きくする)と、ブレを軽減できる。

ご注意

- 連写時、DROが[プラス]時は[ISO AUTO]、[ISO 80] ～ [ISO 800]までしか選べません。

ISO感度(推奨露光指数)の調整

ISO感度とは、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。



ISO感度が高い

シャッタースピードを速くしてブレを軽減し、露出が足りない場所でも、明るめに記録できます。
ただし、画像にノイズが増えます。



ISO感度が低い

ノイズの少ない画像を撮影することができます。
ただし露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

色合い(ホワイトバランス)

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

1 MENU → AWB(色合い(ホワイトバランス)) → 好みのモード

✓	AWB(オート)	自然な色合いになるよう、ホワイトバランスを自動調節する。
	(太陽光)	晴天の屋外や、夕景、夜景、ネオン、花火などに合わせる。
	(曇天)	曇り空や日陰に合わせる。
	(蛍光灯1) (蛍光灯2) (蛍光灯3)	[蛍光灯1]:白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯2]:昼白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯3]:昼光色蛍光灯の光に合わせる。
	(電球)	白熱球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	WB(フラッシュ)	フラッシュ光に合わせる。

ご注意

- おまかせオート撮影、かんたんモード時は、[色合い(ホワイトバランス)]は選べません。
- 動画撮影時、シーンセレクションがISO(高感度)のときは、[色合い(ホワイトバランス)]の[フラッシュ]は選べません。
- ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光灯1]、[蛍光灯2]、[蛍光灯3]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[色合い(ホワイトバランス)]は[オート]になります。
- フラッシュが[強制発光]、または[スローシンクロ]の場合、ホワイトバランスは[オート]、[フラッシュ]のみ選べます。

光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。
本機はこの変化を適正にするように自動調整しますが、ホワイトバランスを使うと、よりお好みの色合いに調整できます。

天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
光の特性	基準となる白 	青みがかる 	緑がかる 	赤みがかる 

水中ホワイトバランス

シーンセレクションで(水中)を選んでいるときの色合いを調整します。

1 MENU → (水中ホワイトバランス) → 好みのモード

✓	(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
	(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
	(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。

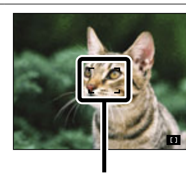
ご注意

- 海の色によっては、[水中1]、[水中2]を選んでもうまく合わないことがあります。
- フラッシュが[強制発光]の場合、水中ホワイトバランスは[オート]のみ選べます。

フォーカス

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。
AFとは「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のことです。

1 MENU → i (撮影モード) → P(プログラムオート撮影) → (フォーカス) → 好みのモード

✓	(マルチAF)	画面全体を基準に、自動ピント合わせをする。 静止画撮影で半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。 • 顔検出が働いている場合には、顔を優先したAFになる。 • シーンセレクションが (水中)のときは、水中撮影に適したAFになる。半押ししてピントが合うと、大きな枠が緑色で表示される。	 AF測距枠
	(中央重点AF)	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。	 AF測距枠
	(スポットAF)	非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。測距枠からはずれないように手ブレにご注意ください。	 AF測距枠

ご注意

- [デジタルズーム]を使用するときは、AF測距枠設定が無効になり、AF測距枠が点線で表示されます。この場合、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- [マルチAF]以外の設定にすると、顔検出は使えません。
- 以下の場合は[マルチAF]で固定されます。
  – おまかせオート撮影時
  – かんたんモード時
  – 動画撮影時
  – スマイルシャッター中

次のページにつづく↓

画面端の被写体にピントを合わせるには

ピントを合わせたい被写体にピントが合わないときは、以下の方法を使って撮影します。



① 被写体がAF測距枠に入るように構図を構え、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる（AFロック）。
② AE/AFロック表示が点滅 → 点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻し、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

- シャッターボタンを押し込む前なら、何回でもやり直せます。

測光モード

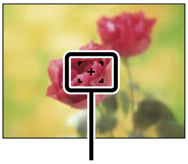
本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

静止画撮影時：

1 MENU → （撮影モード）→ P（プログラムオート撮影）→ （測光モード）→ 好みのモード

動画撮影時：

1 モードスイッチを（動画撮影）にする → MENU → （測光モード）→ 好みのモード

✓	**（マルチ）**	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する（マルチパターン測光）。
	（中央重点）	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める（中央重点測光）。
	（スポット）	被写体の一部分だけで測光する（スポット測光）。逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利。  スポット測光照準 被写体をここに合わせる

ご注意

- 動画撮影時は［スポット］は選べません。
- ［マルチ］以外の設定にすると、顔検出は使えません。
- 以下の場合は［マルチ］で固定されます。
  – おまかせオート撮影時
  – かんたんモード時
  – スマイルシャッター中

おまかせシーン認識

本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。動きを検出すると、動きに応じてISO感度が上がり被写体ブレを軽減します（動き検出）。



逆光が働いた写真例



シーン認識マークとガイド
以下のシーンを認識します。本機が最適なシーンを判別すると、各マークとガイドが表示されます。
（夜景）、（夜景＆人物）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（人物）

1 MENU → iO（撮影モード） → iO（おまかせオート撮影） → iSCN（おまかせシーン認識） → 好みのモード

✓	iSCN（オート）	シーン認識すると、最適な設定に切り替わり、撮影する。
	iSCN+（アドバンス）	シーン認識すると、最適な設定に切り替わり、（夜景）、（夜景＆人物）、（逆光）、（逆光＆人物）を認識すると、自動的にもう1枚撮影される。 • 2枚撮影される場合には、iSCN+アイコンの+部分が緑色になります。 • 2枚撮影されると、撮影直後、画像は2枚並んで表示されます。

ご注意

- デジタルズーム撮影時は、おまかせシーン認識は働きません。
- 連写時、スマイルシャッター中は、おまかせシーン認識は［オート］で固定されます。
- フラッシュは、［オート］、または［発光禁止］になります。
- 状況によっては、これらのシーンはうまく認識されない場合があります。

次のページにつづく↓

2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

[アドバンス]では、失敗しがちな（夜景）、（夜景＆人物）、（逆光）、（逆光＆人物）を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

後からお好みの1枚を選ぶことができます。

	1枚目*	2枚目
	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）
	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）

* フラッシュは[オート]の場合です。

スマイル検出感度

スマイルシャッター機能で笑顔を検出する感度を設定します。

1 MENU → ☻（スマイル検出感度）→ 好みのモード

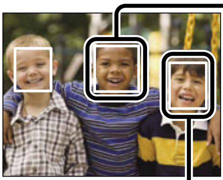
	☻（大笑い）	大笑いで検出する。
✓	☻（普通の笑顔）	普通の笑顔で検出する。
	☻（ほほ笑み）	ほほ笑み程度でも検出する。

ご注意

- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- かんたんモード、動画撮影のときは選べません。

顔検出

カメラが人物の顔を判別して、フォーカス/フラッシュ /明るさ（EV補正）/色合い（ホワイトバランス）/赤目軽減発光の調整をします。



顔検出枠（オレンジ色）
複数の顔を検出している場合、カメラが主要被写体を判断して優先的にピントを合わせます。
主要被写体は顔検出枠がオレンジ色になります。
シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った枠は緑色になります。

顔検出枠（白色）

1 MENU → [AUTO]（顔検出）→ 好みのモード

	[OFF]（切）	顔検出機能を使わない。
✓	[AUTO]（オート）	カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。

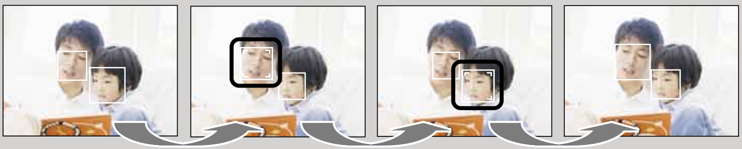
ご注意

- かんたんモード、動画撮影時は、[顔検出]は選べません。
- フォーカスが[マルチAF]、測光モードが[マルチ]のときのみ、顔検出が選べます。
- デジタルズームのとき、顔検出機能は働きません。
- 最大8人の顔を検出できます。
- スマイルシャッター撮影するときは、[顔検出]を[切]に設定しても自動的に[オート]になります。

次のページにつづく↓

優先したい顔を選択する

通常は[顔検出]での設定に合わせ、カメラまかせでピントを合わせる顔を選びますが、優先したい顔を自分で選ぶこともできます。



優先顔解除

① 顔検出中に、コントロールボタン中央の●を押す。

左側の顔が優先顔として選択され、枠がオレンジ色の[ ]に変わる。

② 中央の●を押すと、優先顔は右の顔に移動する。

選択したい顔に[ ]のオレンジ枠があたるまで、これを繰り返す。

③ 選択を解除したい場合は、右端の顔までオレンジ枠を移動させ、もう一度中央の●を押す。

- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによって顔が正しく検出できない場合があります。このときは、撮影する環境で選択しなおしてください。
- 顔検出枠を選択してスマイルシャッターを実行すると、その顔だけがスマイル検知の対象になります。
- かんたんモード時は、顔は選べません。

DRO

撮影シーンを分析し、自動補正をおこなって画質を向上させます。
DROとは「Dynamic Range Optimizer」の略で、画像の明暗の差を最適になるように自動補正する機能のことです。

1 MENU → i📷(撮影モード) → P(プログラムオート撮影) → DRO STD(DRO) → 好みのモード

	DRO OFF(切)	補正しない。
✓	DRO STD(スタンダード)	撮影画像の明るさ、コントラストを自動補正する。
	DRO Plus(プラス)	撮影画像の明るさ、コントラストを強めに自動補正する。

ご注意

- 撮影状況によっては、補正効果を得ることができない場合があります。
- [プラス]のとき、ISOの値は、[ISO AUTO]、[ISO 80] ～ [ISO 800]までしか選べません。

かんたんモード

撮影した静止画をみるとき、文字が大きくなり、表示が見やすくなります。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → EASY（かんたんモード） → ［実行］ → 中央の●

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード時に使用できる再生機能

かんたんモード時、使える機能は削除だけになります。

🗑（削除）ボタン： 見ている画像だけを削除できます。
［実行］を選び、中央の●を押す。

MENUボタン： ［1枚］では見ている画像を削除し、［全て］ではフォルダ内すべての画像を削除します。
［かんたんモード終了］ → ［実行］で、かんたんモードを終了します。

スライドショー

画像を自動的に連続再生します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → ▭（スライドショー） → コントロールボタン中央の●で決定
3 好みの設定を選ぶ
4 ［実行］ → 中央の●
5 スライドショーを終了するときは、中央の●を押す

ご注意

- 動画は再生できません。

再生画像

再生する画像のグループを設定します。

✓	全て	全ての静止画を順番に再生する。
	フォルダ内	選択中のフォルダ内の静止画を再生する。

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は［フォルダ内］に固定されます。

間隔設定

画面が切り替わる間隔を設定します。

	1秒	設定した秒間隔で画面が切り替わります。
✓	3秒	
	5秒	
	10秒	

リピート

スライドショーを繰り返し行うかどうかを設定します。

✓	入	繰り返しスライドショーする。
	切	1回スライドショーする。

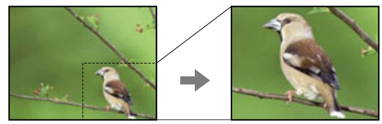
加工

撮影した画像を加工し、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → （加工） → 好みのモード → コントロールボタン中央の● で決定

3 各モードの操作方法に従って、実行する

（トリミング）	再生ズームの画像を一部切り取る。  ① T側のボタンで倍率拡大、W側のボタンで倍率縮小 ② コントロールボタンで位置調整 ③ MENU → 画像サイズ選択 → 中央の● ④ ［実行］ → 中央の● • トリミングすると画質は劣化します。 • 画像によってトリミングできる画像サイズは異なります。
（赤目補正）	フラッシュ撮影時に赤く映った目を補正する。  ① コントロールボタンで［実行］を選択 → 中央の● • 画像によっては補正できない場合があります。

ご注意

• 動画は加工できません。

削除

不要な画像を選んで削除できます。🗑（削除）ボタンからの削除もできます（26ページ）。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → 🗑（削除） → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定
3 ［実行］ →中央の●

（この画像）	1枚再生時に見ている画像を削除する。
（画像選択）	画像を何枚か選んで削除する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 削除したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度選ぶと、削除の選択は解除される。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●
（フォルダ内全て）	選択しているフォルダ内すべての画像をまとめて削除する。

ご注意

- かんたんモードのときは、[1枚]と[全て]から選びます。

プロテクト

撮影した画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。
登録された画像には⊶マークが表示されます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → ⊶（プロテクト） → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

（この画像）	1枚再生時に見ている画像をプロテクトする。
（画像選択）	画像を何枚か選んでプロテクトする。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 プロテクトしたい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度選ぶと、プロテクトの選択は解除される。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●

プロテクト指定を解除するには

プロテクト指定の手順と同様に、プロテクトを解除したい画像を選び、コントロールボタン中央の●を押します。⊶マークが消え、プロテクトが解除されます。

DPOF

DPOFとは「Digital Print Order Format」の略です。プリントしたい画像をメモリーカード上に指定することができます。
登録された画像には**DPOF**（プリント予約）マークが表示されます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → **DPOF** → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

DPOF☑（この画像）	1枚再生時に見ている画像をプリント予約する。
DPOF☑（画像選択）	画像を何枚か選んでプリント予約する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 プリント予約したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度選ぶと、プリント予約の選択は解除される。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●

ご注意

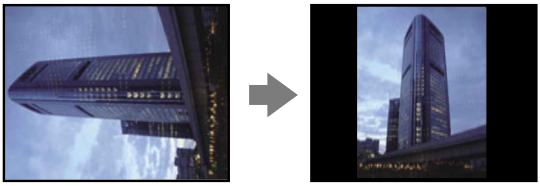
- 動画と内蔵メモリー内の画像はプリント予約マークが付けられません。
- プリント予約マークは999枚まで付けられます。

DPOF指定を解除するには

DPOF指定の手順と同様に、DPOFを解除したい画像を選び、コントロールボタン中央の●を押します。**DPOF**マークが消え、DPOFが解除されます。

回転

静止画を左右に回転します。横向きに表示されている画像を、縦表示にしたいときに使います。



1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → （回転） → コントロールボタン中央の●で決定
3 [↶/↷] → ◀/▶で画像を回転
4 [実行] → 中央の●

ご注意

- 動画、プロテクトされている画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

再生フォルダ選択

メモリーカード内に複数のフォルダがあるとき、再生したい画像の入っているフォルダを選びます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → 🗀（再生フォルダ選択）→ 中央の●
3 ◀/▶でフォルダを選ぶ
4［実行］→ 中央の●

ご注意

• 内蔵メモリー使用時は表示されません。

フォルダをまたいで画像を見るには

複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。

：前のフォルダに移動可能
：後ろのフォルダに移動可能
：前/後のフォルダに移動可能

グリッドライン

グリッドラインを画面に表示して撮影すると、グリッドラインを基準にして水平/垂直のライン合わせができます。

1 撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [グリッドライン] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

	入	グリッドラインを表示する。グリッドラインは記録されない。
✓	切	グリッドラインを表示しない。

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率（4倍）まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

1 撮影モードにする

2 MENU → （設定）→ （撮影設定）→［デジタルズーム］→ 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**スマート（sQ）**	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限する（スマートズーム）。
	プレシジョン（PQ）	画像サイズの設定にかかわらず、光学ズーム4倍含む、総合ズーム倍率約8倍までズームをする。光学ズーム倍率を超えると、画像は劣化する（プレシジョンデジタルズーム）。
	切	デジタルズームを使用しない。

ご注意

- 動画撮影時、スマイルシャッター中は、デジタルズームできません。
- 画像サイズが[14M]、[16:9（11M）]のときは、スマートズームできません。
- デジタルズームのとき、顔検出は働きません。

スマートズーム時の総合ズーム倍率（光学ズーム4倍含む）

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

画像サイズ	総合倍率
10M	約4.7倍
5M	約6.7倍
VGA	約27倍
16:9（2M）	約9.0倍

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [赤目軽減] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

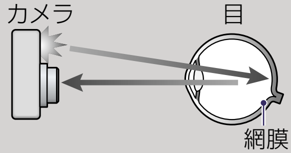
✓	**オート**	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	入	常に赤目軽減発光する。
	切	赤目軽減発光しない。

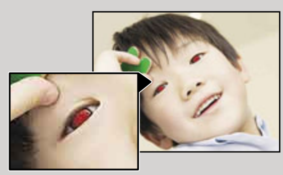
ご注意

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。





その他の軽減方法

- シーンセレクションで (高感度)を選び、撮影する(フラッシュは[発光禁止]になります)。
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

操作音

本機を操作したときに鳴る操作音の設定を変更したり、消したりします。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［操作音］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	**大**	コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。 音を小さくしたいときは[小]にする。
	小	
	切	音は鳴らない。

機能ガイド

本機を操作したときに表示される機能説明の有無を設定できます。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［機能ガイド］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	入	機能ガイドを表示する。
	切	表示しない。

パワーセーブ

電源が切れるまでの時間を設定します。
バッテリー使用時、電源を入れたまま一定時間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［パワーセーブ］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

	スタミナ	約1分で電源が切れる。
✓	**標準**	約2分で電源が切れる。
	切	自動で電源が切れない。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。
[設定リセット]を実行しても、画像は削除されません。

1 MENU → 🧰（設定）→ 🔧（本体設定）→［設定リセット］→［実行］→ コントロールボタン中央の●

ご注意

- 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [ビデオ信号出力] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する(日本、米国など)。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する(欧州、中国など)。

USB接続

本機とパソコン、またはPictBridge対応プリンターを専用USBケーブルで接続するときのモードを設定します。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［USB接続］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**オート**	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する。
	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する。
	PTP/MTP	本機とパソコンを接続した場合は自動再生ウィザードが起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の静止画をパソコンに取り込む。（Windows 7/Vista/XP、Mac OS Xに対応）
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する。

ご注意

- [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定し直してください。
- [オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定し直してください。
- [PTP/MTP]では、動画の取り込みはできません。動画をパソコンに取り込むときは、[オート]または[Mass Storage]に設定してください。

LUN設定

本機をパソコンやAV機器とUSB接続したとき、パソコンなどに表示される記録メディアの表示方法を設定します。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → [LUN設定] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**マルチ**	メモリーカードと内蔵メモリー両方の画像を表示する。パソコンと接続するときに選ぶ。
	シングル	メモリーカード挿入時はメモリーカード、挿入されていないときは内蔵メモリーを表示する。パソコン以外の機器と接続したとき、両方の画像が表示されなかった場合に選ぶ。

ご注意

- 「PMB Portable」でネットワークサービスに画像をアップロードする場合は、必ず[LUN設定]を[マルチ]にしてください。

フォーマット

メモリーカード、または内蔵メモリーをフォーマット（初期化）します。
メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

1 **MENU → （設定） → （メモリーカードツール）、または（内蔵メモリーツール） → ［フォーマット］ → ［実行］ → コントロールボタン中央の●**

ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

記録フォルダ作成

メモリーカードの中に新しいフォルダを作成します。
画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。

1 MENU → （設定） → （メモリーカードツール） → ［記録フォルダ作成］ → ［実行］ → コントロールボタン中央の●

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダを作成する場合があります。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚です。フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

フォルダについて

新しいフォルダを作ると、記録先フォルダを変更したり（71ページ）、再生時のフォルダを選択（58ページ）できます。

記録フォルダ変更

メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを変更します。

1 MENU → （設定）→ （メモリーカードツール）→［記録フォルダ変更］
2 コントロールボタンの◀/▶でフォルダを選ぶ
3［実行］→ 中央の●

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 「100」フォルダは記録フォルダとして選べません。
- 記録した画像は、別のフォルダには移動できません。

記録フォルダ削除

メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを削除します。

1 MENU → 🧰（設定）→ ▭（メモリーカードツール）→［記録フォルダ削除］

2 コントロールボタンの◀/▶でフォルダを選ぶ

3［実行］→ 中央の●

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 記録フォルダとして設定しているフォルダを[記録フォルダ削除]で削除した場合、フォルダ番号が一番大きいフォルダが次の記録フォルダとして選ばれます。
- フォルダの中が空の場合のみ削除できます。画像や、本機で再生できないファイルが入っている場合は、それらを削除してから行ってください。

コピー

内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーします。

1 充分な空き容量のあるメモリーカードを本機に入れる

2 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [コピー] → [実行] → コントロールボタン中央の●

ご注意

- 充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後にメモリーカードを本体から取りはずし、[内蔵メモリーツール]の[フォーマット]を行ってください。
- データをコピーするとメモリーカード内に新しいフォルダが作成されます。コピー先のフォルダを指定することはできません。

ファイル番号

撮影画像のファイル番号の付けかたを設定します。

1 MENU → （設定） → （メモリーカードツール）、または（内蔵メモリーツール） → [ファイル番号] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**連番**	記録フォルダを変更したり、メモリーカードを取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。 （取り換えたメモリーカード内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。）
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。（記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存の最大番号＋1のファイル番号を付ける。）

日時設定

時刻を再設定します。

1 MENU → 🧰（設定）→ 🕘（時計設定）→［日時設定］→ 好みの設定 → コントロールボタン中央の●で決定

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で数値、好みの設定を選ぶ

3［実行］→ 中央の●

表示形式	日付表示順を選ぶ。
日時	日付、時刻を設定する。

ご注意

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。

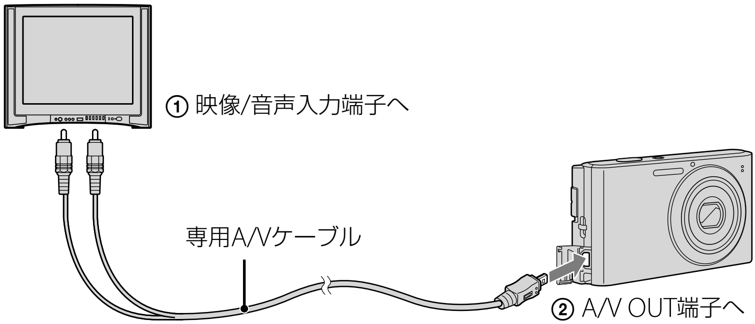
テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見られます。
接続方法は、接続するテレビの種類によって異なります。テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

付属の専用A/Vケーブルでテレビに接続して画像を楽しむ

1 本機とテレビの電源を切る

2 本機とテレビを専用A/Vケーブル（付属）で接続する



3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶（再生）ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。コントロールボタンで画像を選ぶ。

ご注意

- 海外で見るときは、[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります（66ページ）。
- テレビに出力中は、かんたんモードは無効になります。

パソコンを使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、
CD-ROM（付属）には「PMB」などが収録されています。

パソコンの推奨環境（Windows）

付属ソフトウェア「PMB」、「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/ Windows 7
その他	**CPU**：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上 **メモリ**：512 MB以上 **インストール時に必要なハードディスク容量**：約500 MB **ディスプレイ**：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

パソコンの推奨環境（Macintosh）

付属ソフトウェア「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	USB接続：Mac OS X（v10.3 ～ v10.6） PMB Portable：Mac OS X（v10.4 ～ v10.6）

ご注意

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（hi-speed転送）が行えます。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソフトウェアを使う

「PMB（Picture Motion Browser）」をインストールする（Windows）

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ （SONYPMB）の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合は、「Install.exeの実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールする。

2 [インストール]をクリックする

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合には○を◉に変え、[次へ]をクリックする

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める

- インストールするには途中でカメラとパソコンを接続する（80ページ）。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す

7 ソフトウェアを起動する

- 「PMB」を起動するときは、デスクトップ上の（PMB）をクリックする。
  詳しい使い方はPMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または（PMBヘルプ）をクリックして確認する。
- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] →（PMB）より実行する。

ご注意

- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- 「PMB」の初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。

次のページにつづく↓

「PMB」のご紹介

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[取り込み開始]をクリックします。
- パソコンにある画像を、メモリーカードに書き出し、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[活用]メニューの[書き出し] → [画像の書き出し]をクリックし、[書き出し開始]をクリックします。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上で表示できます。
- 静止画の補正（赤目補正など）、撮影日時の変更ができます。
- 書き込み型CDドライブ、またはDVDドライブでデータディスクを作成できます。
- 画像をネットワークサービスにアップロードできます（インターネット接続環境が必要です）。
- その他詳しくは、（PMBヘルプ）をご覧ください。

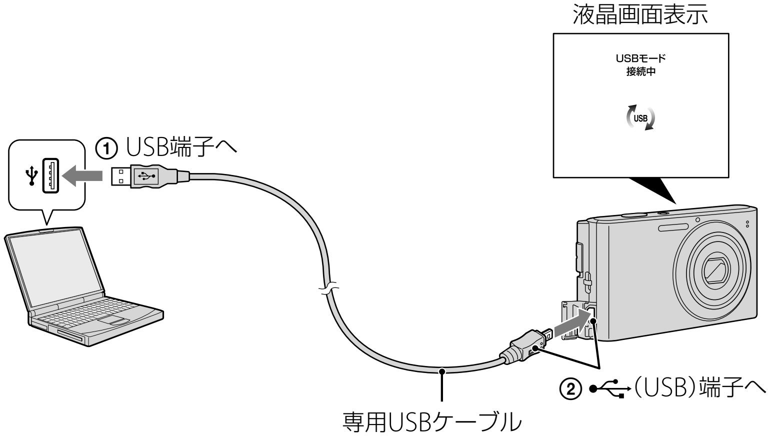
本機とパソコンを接続する

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる

2 パソコンの電源を入れ、本機の▶(再生)ボタンを押す

3 本機とパソコンを接続する

- 初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。



画像を取り込んで見る(Windows)

「PMB」を使うと、簡単に画像を取り込めます。
「PMB」の機能について詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

「PMB」を使わずに画像をパソコンに取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM]をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピーしてください。

画像を取り込んで見る（Macintosh）

1 **本機とパソコンを接続したら［デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン］ → ［DCIM］ → ［取り込みたい画像の入ったフォルダ］の順にダブルクリックする**

2 **画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする**
ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

3 **［ハードディスクアイコン］ → ［画像ファイル］の順にダブルクリックする**
画像が表示される。

パソコンとの接続を切断する

以下の操作を行いたいときは、1 ～ 3の手順をあらかじめ行ってください。

- 専用USBケーブルを抜く
- メモリーカードを取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、メモリーカードを本機に入れる
- 本機の電源を切る

1 **タスクトレイの切断アイコンをダブルクリックする**

2 **（USB大容量記憶装置デバイス） → ［停止］をクリックする**

3 **取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする**



ご注意

- Macintosh使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

画像をネットワークサービスにアップロードする

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB Portable」をご利用になると、次のことができます。

- 画像をブログなどのネットワークサービスへ簡単にアップロードできます。
- 外出先などでも、インターネット接続されたパソコンからアップロードできます。
- 頻繁に使用するネットワークサービス（ブログなど）を登録できます。

詳しい使い方については、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

PMB Portableを起動する（Windows）

初めてご利用になる場合には、言語設定が必要です。下記のとおり設定を行ってください。一度、言語設定を行うと、次回から手順3 ～ 5は不要になります。

1 本機とパソコンをUSB接続する

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザードが起動する。
必要のないドライブは[×]で終了してください。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

2 [PMB Portable]をクリックする（Windows XPでは、“PMB Portable” → [OK]）

- 自動再生ウィザード内に[PMB Portable]が表示されない場合は、[コンピュータ] → [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

言語選択画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[OK]をクリックする

地域選択画面が表示される。

4 [エリア]と[国/地域]を選び、[OK]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

5 内容をよく読み、[同意する]をクリックする

「PMB Portable」が起動する。

PMB Portableを起動する(Macintosh)

1 本機とパソコンをUSB接続する

本機とパソコンの接続が終わると、デスクトップ上に[PMBPORTABLE]が表示される。

必要のないドライブは[×]で終了してください。

2 [PMBPORTABLE]フォルダの中の[PMBP_Mac]をクリックする

地域選択画面が表示される。

3 [エリア]と[国/地域]を選び、[OK]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 内容をよく読み、[同意する]をクリックする

「PMB Portable」が起動する。

ご注意

- [本体設定]の[LUN設定]を[マルチ]に設定してください。
- 「PMB Portable」使用時は必ず、ネットワーク接続してください。
- 当製品を含め、インターネット経由で画像をアップロードするとき、サービスプロバイダーによっては利用しているパソコンにキャッシュが残る場合があります。
- 「PMB Portable」に不具合が起きたり、誤って削除してしまった場合、PMB Portableインストーラーを Webからダウンロードして修復することができます。

「PMB Portable」についてのご注意

「PMB Portable」はいくつかのウェブサイトのURLを、ソニーが管理するサーバー(以下、ソニーサーバー)からダウンロードすることができます。

「PMB Portable」を使用してこれらを含むウェブサイトが提供する画像アップロードサービス等(以下、サービス)をご利用いただくにあたり、以下をご承諾願います。

- ウェブサイトによっては、サービス利用に際してお客様による登録手続や利用料等の費用負担が必要となる場合があります。ウェブサイトが定める規約に従って、サービスをご利用ください。
- ウェブサイトの運営者の都合等により、サービスの中止や変更等があり得ますが、これらの場合を含め、サービスのご利用に関連してお客様と第三者との間に生じたトラブルや、お客様に発生した損害に関し、ソニーは一切責任を負いません。
- ウェブサイトへはソニーサーバーからリダイレクトされます。サーバーメンテナンスなどの事情により、ウェブサイトへアクセスできない場合があります。
- ソニーサーバーの運用を終了する場合は、ソニーのウェブサイトなどで事前にご案内いたします。
- ソニーサーバーからリダイレクトされる先のURL等を記録し、今後のソニー製品及びサービスの向上に役立たせていただく場合があります。ただし、個人情報は記録いたしません。

静止画をプリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（PictBridge対応プリンター使用）
- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  CD-ROM収録のソフトウェア「PMB」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。
- お店でプリント（86ページ）

ご注意

- [16:9]で撮影した静止画は、プリント時に両端が切れる場合があります。

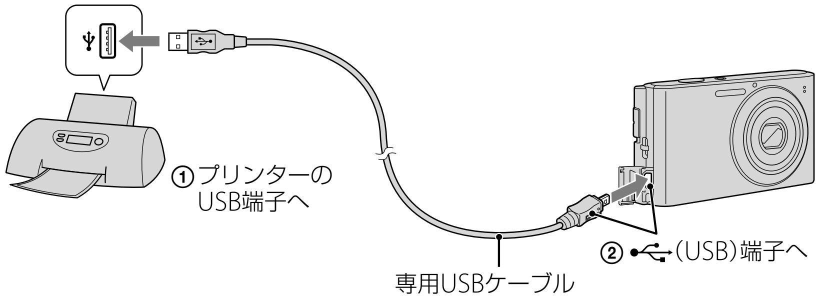
ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge　「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる

2 本機とプリンターを接続する



3 本機とプリンターの電源を入れる

接続が完了すると、画面にマークが表示される。

マークが点滅したときは、プリンターからのエラー通知です。接続しているプリンターを確認してください。

4 MENU → (印刷) → 好みのモード → コントロールボタン中央の● で決定

この画像	1枚再生時に見ている画像を印刷する。
画像選択	画像を何枚か選んで印刷する。 手順4の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 印刷したい画像があるだけ繰り返す。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●

5 好みの設定 → ［実行］ → 中央の●

枚数	指定した画像のプリント枚数を選ぶ。 • インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらない場合があります。
レイアウト	1枚のプリント用紙に何枚の画像を並べるかを選ぶ。
サイズ	用紙サイズを選ぶ。
日付	日時を挿入するときは[年月日]、または[日時分]を選ぶ。 • [年月日]を選ぶと、本機の日時設定で選んだ年月日の表示順で挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

ご注意

- 動画はプリントできません。
- プリンターに接続できなかった場合は、(本体設定)の[USB接続]を[PictBridge]にしてください。
- (PictBridge接続中)マークが画面に表示されているときは、専用USBケーブルを抜かないでください。

お店でプリントする

画像を撮影したメモリーカードをプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、再生メニューでDPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーして（73ページ）、プリントサービス店にお持ちください。
- 対応しているメモリーカードの種類はお店にお問い合わせください。
- メモリーカード用のアダプター（別売）が必要な場合があります。お店にお問い合わせください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。
- 日付を写真に挿入したいときは、お店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 88 ～ 95ページの項目をチェックし、本機を点検する。

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、96ページをご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（65ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトなどで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。

- 内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/di-repair/

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れてください。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときは、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては表示にズレが生じることがあります。
- バッテリーの寿命です(101ページ)。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャーを使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
- 充電に適した温度範囲(10℃～ 30℃)で充電してください。
- 詳しくは、102ページをご覧ください。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリー、またはメモリーカードの空き容量を確認してください。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  - 不要な画像を削除してください(26ページ)。
  - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  - "メモリースティックPROデュオ"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"
  - SDメモリーカード、SDHCメモリーカード(Class 2 以上)
- 静止画撮影時は、モードスイッチを (静止画撮影)にしてください。
- 動画撮影時は、モードスイッチを (動画撮影)にしてください。

スマイルシャッター撮影ができない。

- 笑顔が検出されない場合は撮影されません。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。最短撮影距離(レンズ先端からW側約4cm、T側約60cm)より離して撮影してください。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの (夜景)、 (風景)が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。

ズームできない。

- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。
- 画像サイズによってはスマートズームができません(60ページ)。
- 以下のときデジタルズームは使えません。
  - 動画撮影中
  - スマイルシャッターモード時

顔検出機能が選べない。

- フォーカスが[マルチAF]、測光モードが[マルチ]の両方の設定がされているときのみ、顔検出が選べます。

フラッシュ撮影ができない。

- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  - 連写時(37ページ)
  - シーンセレクションの (高感度)、 (夜景)が選ばれているとき
  - 動画撮影時
- シーンセレクションの (風景)、 (料理)、 (ペット)、 (ビーチ)、 (スノー)、 (水中)が選ばれているときは、 (強制発光)にしてください(20ページ)。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした白く丸い点が写っている。

- 空気中の粒子(ほこり、花粉など)がフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接撮影（マクロ撮影）ができない。

- 本機は自動でピントを合わせています。シャッターボタンを半押ししてください。近くの被写体を撮影するときはピント合わせに時間がかかります。
- シーンセレクションの（風景）、（夜景）が選ばれているときは、近接撮影できません。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません。「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷することができます（78ページ）。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。明るさ（EV補正）を設定してください（38ページ）。

画像の色が正しくない。

- 色合い（ホワイトバランス）を調整してください（40ページ）。

被写体の明るい部分から、白や紫などの線が出たり、画面全体が赤みがかったような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。通常の静止画には記録されませんが、動画撮影では線やムラとなって記録されます。（明るい部分とは太陽や電灯など周囲との明るさの差が大きい箇所のことです。）

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- [赤目軽減]を[オート]、または[入]にしてください（61ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影してください。
- 室内を明るくして撮影してください。
- 再生メニューの[加工] → [赤目補正]を行う（53ページ）、または「PMB」で修正する。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

連写できない。

- 内蔵メモリー、またはメモリーカードの容量がいっぱいです。不要な画像を削除してください（26ページ）。
- バッテリーの残量が足りません。充電されたバッテリーを取り付けてください。

同じ画像が数枚撮影される。

- [連写設定]が[連写]になっています（37ページ）。
- [おまかせシーン認識]が[アドバンス]になっています（45ページ）。

画像を見る

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください(81ページ)。

撮影日時が表示されない。

- 情報表示なしの設定になっています。DISP（画面表示設定)を押して情報を表示してください(19ページ)。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

液晶画面に画像が出ない。

- A/Vケーブルが本機に接続されている場合は、はずしてください。

一覧表示ができない。

- かんたんモードになっています。かんたんモードを解除してください。

テレビに画像が出ない。

- [ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認してください(66ページ)。
- 接続が正しいか確認してください(76ページ)。

画像を削除する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除してください(55ページ)。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

“メモリースティック”スロット付きパソコンで“メモリースティック PRO デュオ”が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが“メモリースティック PRO デュオ”に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、バイオのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- “メモリースティック PRO デュオ”非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください(80、81ページ)。パソコンが“メモリースティック PRO デュオ”を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付けてください。
- [USB接続]を[オート]、または[Mass Storage]にしてください(67ページ)。
- 接続には、専用USBケーブル(付属)を使ってください。
- 一度パソコンと本機から専用USBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

画像を取り込めない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください(80ページ)。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードで撮影した場合、画像をパソコンへ取り込めないことがあります。本機でフォーマットしたメモリーカードで撮影してください(69ページ)。

USB接続をしたときに「PMB」が自動起動しない。

- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続してください。

USB接続をしたときに「PMB Portable」が起動しない。

- [LUN設定]を[マルチ]にしてください(68ページ)。
- [USB接続]を[オート]、または[Mass Storage]にしてください(67ページ)。
- パソコンをネットワーク接続してください。

画像を再生できない。

- 「PMB」をお使いの場合は、「PMBヘルプ」をご覧ください(78ページ)。
- パソコンメーカー、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリー、またはメモリーカードから直接再生すると、画像や音が途切れます。PMBで画像を取り込んでファイルを再生してください(78ページ)。

パソコンから書き出した画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど本機で認識するフォルダに書き出してください。

メモリーカード

本機に入らない。

- 正しい向きで入れてください。

誤ってフォーマットしてしまった。

- メモリーカード内のデータはすべて消去され、元に戻せません。

メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまう。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが再生/記録できない。

- 本機にメモリーカードが入っています。取りはずしてください。

内蔵メモリー内のデータをメモリーカードにコピーできない。

- メモリーカードの空き容量がありません。充分な空き容量のあるメモリーカードにコピーしてください。

メモリーカードやパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- メモリーカードやパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「PMB」を使って印刷すると日付挿入ができます(78ページ)。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認してください。
- [USB接続]を[PictBridge]にしてください(67ページ)。
- 専用USBケーブルを抜いて、接続し直してください。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターが専用USBケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- プリンターの電源が入っているか確認してください。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に[終了]を選ぶと、再びプリントできない場合があります。専用USBケーブルを抜いて、接続し直してください。それでも復帰しないときは、専用USBケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続し直してください。
- 動画はプリントできません。
- 他機で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。

プリントが中断される。

- (PictBridge接続中)マークが消える前に、専用USBケーブルを抜いていないか確認してください。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応していません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていません。[日付]を[切]にしてプリントしてください(84ページ)。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、一度専用USBケーブルを抜いてプリンターを接続し直してください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていません。本機の用紙サイズ設定を変更する(84ページ)か、プリンターの用紙設定を変更してください。
- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

印刷を中止すると、ほかの操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

その他

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を切って約1時間そのままにしてから使用してください。

レンズが出たまま電源が切れてしまった。

- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付け、再度電源を入れてください。
- 動かなくなったレンズを無理やり押し込まないでください。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 日付/時刻を設定し直してください(75ページ)。
- 充電式バックアップ電池が放電しています。充電したバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

日付/時刻がずれている。

- MENU → (設定) → [時計設定] → [日時設定]で設定し直してください。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。
表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでソニーの相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すかメモリーカードを数回抜き差ししてください。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままです。または、フォーマットしていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください（69ページ）。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています。またはデータが壊れています。メモリーカードを交換してください。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセット（65ページ）してから、電源を入れてください。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。



- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにバッテリーを充電してください。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- NP-BN1（付属）以外のバッテリーを使っています。

システムエラー

- 電源を入れ直してください。

しばらく使用できません
カメラの温度が下がるまでお待ちください

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、動画撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直してください。

メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています（3ページ）。
- メモリーカード端子が汚れています。
- メモリーカードが壊れています。

非対応のメモリーカードです

- 本機では使えないメモリーカードが入っています（3ページ）。

内蔵メモリーフォーマットエラー
メモリーカードフォーマットエラー

- フォーマットし直してください（69ページ）。

メモリーカードがロックされています

- 誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。

読み出し専用のメモリーカードです

- このメモリーカードへの画像記録や消去はできません。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていません。
- メモリーカードのフォルダ内に再生可能な画像が記録されていません。

フォルダエラー

- 上３桁の番号が同じフォルダがメモリーカード内にあります（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選ぶか、フォルダを作成してください（70、71ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生しました。
  パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保障しません。

読み出し専用フォルダです

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択しました。ほかのフォルダを選択してください（71ページ）。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除してください（55ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしています。

対象を検出できませんでした

- 画像によっては加工できない場合があります。

（手ブレ警告表示）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用してください。または、三脚などで本機をしっかりと固定してください。

電源を入れ直してください

- レンズの誤作動です。

VGAに、このメモリーカードは対応していません

- 動画撮影時は、1GB以上のメモリーカードの使用をおすすめします。

制限枚数を超えています

- ［画像選択］で選べるファイルは100枚までです。
- DPOF（プリント予約）マークが付けられるファイルは999枚までです。選択を解除してください。

- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性があります。
  専用USBケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っています。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

非対応ファイルではこの操作を実行できません

- パソコンで画像を加工したファイルや、他機で撮影した画像は、加工などの編集機能は使えません。

内蔵メモリーの残量がありません
画像を削除しますか？

- 内蔵メモリーの残量がありません。内蔵メモリーに記録する場合は［はい］を選び、画像を削除してください。

“メモリースティック デュオ”について

“メモリースティック デュオ”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック デュオ”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）	○*1
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○*2
マジックゲートメモリースティック デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO デュオ	○*2*3
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*2*3*4

*1 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応していません。
*2 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。
*3 動画の[VGA]の記録ができます。
*4 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同様の4ビットパラレルデータ転送を行います。

ご注意

- 本製品は“メモリースティック マイクロ”（“M2”）に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- “メモリースティック デュオ”本体および“メモリースティック デュオ”アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

次のページにつづく↓

- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック デュオ”アダプター（別売）使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック マイクロ”（別売）使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“メモリースティック”対応表」をご確認ください。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

バッテリーについて

バッテリーの充電について

- 周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショーを再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

- NP-BN1（付属）は、Nタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。

バッテリーチャージャーについて

- バッテリーチャージャー（付属）で、NP-BNタイプ以外のバッテリーを充電しないでください。指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- 付属のバッテリーチャージャーのチャージランプには以下の２つの点滅パターンがあります。
  速い点滅・・・・・・約0.15秒の点灯と消灯を繰り返す
  遅い点滅・・・・・・約1.5秒の点灯と消灯を繰り返す
- CHARGEランプが速い点滅をしている場合は充電中のバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再びCHARGEランプが速く点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合はバッテリーの異常が考えられます。
- CHARGEランプが遅い点滅をしている場合は充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲外にある場合は自動的に充電を一時止め待機状態になります。充電に適切な温度範囲にもどれば充電を再開し、チャージランプは点灯になります。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行うことをおすすめします。

索引

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引